

新機械振興賞のご紹介

機械振興協会では昭和41年(1966年)より、企業支援のための表彰制度を実施しております。平成14年より新機械振興賞として新たなスタートを切りましたが、近年では、従来からの中小企業支援に加え、小規模事業者を支援するための審査委員長特別賞を創設いたしました。

技術に自信がある小規模事業者の皆さん! 是非チャレンジしてみてください。

新機械振興賞の特徴

- ・応募された業績は、大企業、中小企業、小規模事業者のそれぞれのカテゴリで審査され、経済産業大臣賞および中小企業庁長官賞、機械振興協会会長賞、審査委員長特別賞が決定します。
- ・過去に他の団体の賞を受賞していたり、補助金を受けたりした業績でも授賞の対象となります。
- ・受賞企業には、賞状および盾が贈呈され、開発担当者にも賞状および賞金が贈られます。
- ・受賞業績は、当協会の Web ページや新聞雑誌等に掲載されますので、御社の技術力の高さを PR することができます。

受賞企業の声

- ・業界専門誌に取り上げられ会社の知名度が向上した。
- ・地元の新聞に取り上げられ人材確保に役立った。
- ・銀行の融資が受けやすくなった。
- ・制度融資が受けやすくなった。



第15回新機械振興賞

募集期間 平成29年4月～5月末

対象：おおむね3年以内に開発された機械装置・部品等賞・副賞：賞状と記念楯(受賞企業・団体)

賞状と賞金(開発担当者)

◇経済産業大臣賞	80万円
◇中小企業庁長官賞(中小企業)	50万円
◇機械振興協会会長賞	30万円
◇審査委員長特別賞(小規模事業者)	20万円

※募集期間、副賞等は、都合により変更となることがあります。

第13回の受賞業績の一部をご紹介します。全ての業績および詳細につきましては、協会 Web ページにてご確認ください。

<http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/>



【中小企業庁長官賞】

極めて平坦な基準ガラス基板の開発

株式会社テクニカル 青森県弘前市



平面度測定用のレーザー干渉計に使用する基準ガラス基板において、市販品としては最高クラスの精度となる $\lambda/100$ (凹凸の差が6.3nm以下)の精度を持つガラス基板

を開発した。製作には産業技術総合研究所の協力による平面度国家標準機および超高精度絶対形状測定装置(SDP)の測定結果と、自社での干渉計による三枚合わせ法の3種類の測定結果の相関を何度も確認する作業を行い、修正研磨の高い技術力と、歪みの少ない枠材への固定方法により実現した。

【審査委員長特別賞】

無粉塵型土壌自動粉碎篩分け装置の開発

大起理化工業株式会社 埼玉県鴻巣市

推薦団体：一般社団法人日本環境ビジネス推進機構



土壌分析を行う場合、前処理として環境省等が定める粉碎とふるい分けが必要となるが、従来は手動で行われることが多く、手間と時間がかかる上、粉塵が出ることから試料ごとに装置を洗浄しなくてはならず多くの時間を費やして

いた。また、粉塵による健康被害の問題も発生するため、これらの作業の自動化が求められていた。本装置は、土壌の粉碎と篩分けを密閉された容器の中で同時に行うことから、短時間で効率よく処理できると共に、粉塵の発生も少なく、洗浄などのメンテナンス性も非常に高くなっている。

第14回
(第51回)*

新機械振興賞

平成28年
4月1日(金)
5月31日(火)
必着

※第1～37回 機械振興協会賞を含む

受賞候補者募集

機械産業技術に関わる独創的な研究開発と新製品の製造、製品の品質・性能の改善または生産の合理化に顕著な業績を上げた研究開発担当者および企業等を表彰します。

昨年度より小規模事業者への支援を強化するため、小規模事業者を対象とした審査委員長特別賞を新設した他、機械産業に関わる関係団体からの推薦だけでなく自薦による応募も受け付けております。

【申請書類】「募集要領」「応募書類の様式」は下記URLよりダウンロードすることができます。

<http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/>

【賞】(予定) 研究開発担当者には賞金を贈呈します。受賞者が複数である場合も、これらと同額とします。

- | | | | |
|-----------------|-------------|----------------|-------------|
| ◇経済産業大臣賞…………… | 80万円 | ◇中小企業庁長官賞…………… | 50万円 |
| ◇機械振興協会会長賞…………… | 30万円 | ◇審査委員長特別賞…………… | 20万円 |

平成27年度(第13回)新機械振興賞受賞一覧

経済産業大臣賞

FC(燃料電池)
駆動システム

トヨタ自動車株式会社

推薦団体：一般社団法人 日本自動車工業会

中小企業庁長官賞

極めて平坦な
基準ガラス基板の開発

株式会社テクニカル

機械振興協会会長賞

人の視覚特性を再現可能とした
レーザースペックル測定装置

株式会社オキサイド

推薦団体：一般社団法人 レーザー学会

機械振興協会会長賞

プレスバンド鋼管の
高能率製造プロセス

JFEスチール株式会社

推薦団体：一般社団法人 日本鉄鋼協会

機械振興協会会長賞

ドライバビリティと使い勝手を
向上させたAMTの開発

スズキ株式会社

推薦団体：一般社団法人 日本自動車工業会

機械振興協会会長賞

世界最高出力の
深紫外ピコ秒パルスレーザー

スペクトロニクス株式会社

推薦団体：公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター

機械振興協会会長賞

横流れ電流低減加工した
小形誘導電動機

三菱電機株式会社

審査委員長特別賞



無粉塵型土壌自動粉砕分け装置の開発

大起理化工業株式会社 推薦団体：一般社団法人 日本環境ビジネス推進機構

業績の概要

土壌分析を行う場合、前処理として環境省等が定める粉砕と篩い分けが必要となるが、従来は手動で行われることが多く、手間と時間がかかる上、粉塵が出ることから試料ごとに装置を洗浄しなくてはならず多くの時間を費やしていた。また、粉塵による健康被害の問題も発生するため、これらの作業の自動化が求められていた。本装置は、土壌の粉砕と篩分けを密閉された容器の中で同時に行うことから、短時間で効率よく処理できると共に、粉塵の発生も少なく、洗浄などのメンテナンス性も非常に高くなっている。